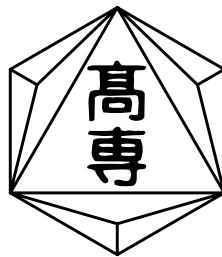


令和 8 年 度

編 入 学 者 募 集 要 項



独立行政法人 国立高等専門学校機構

群馬工業高等専門学校

〒371-8530

群馬県前橋市鳥羽町 580 番地

TEL 027-254-9060 (学生課教務係)

FAX 027-254-9080 (学生課)

URL <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

1 編入学試験を実施する学科、募集人員及び編入学年次

学 科	募 集 人 員	編 入 学 年 次
機 械 工 学 科	各学科 若干名	第 4 学 年
電子メディア工学科		
電子情報工学科		
物 質 工 学 科		
環 境 都 市 工 学 科		

2 出願資格

学 科	出身校における所属科
機 械 工 学 科	高等学校等の工業に関する学科で機械に関する科を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者
電子メディア工学科	高等学校等を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者 (出身学校の科に関係なく志望することができる。)
電子情報工学科	高等学校等の工業に関する学科で情報又は電子に関する科を卒業した者 又は令和8年3月卒業見込みの者
物 質 工 学 科	高等学校等を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者 (出身学校の科に関係なく志望することができる。)
環 境 都 市 工 学 科	高等学校等の工業に関する学科で土木系に関する科を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者※

※ 建築系の科については、出願前に本校担当者（027-254-9060）にご相談ください。

3 願書受付期間

令和7年6月30日（月）から7月3日（木）必着

4 出願書類

提出書類等	摘 要
入 学 願 書 ・ 写 真 票 ・ 受 験 票	本校所定の用紙を用い、必要事項を記入してください。 なお、入学願書及び写真票の所定の欄に写真を貼り付けてください。
検 定 料	検定料16,500円を ※1 及び※2 に従って、銀行又は郵便局（ゆうちょ銀行）より振込を行った後、銀行収納印の押された「振込通知書（提出用）」又は「振込依頼書（お客様控え（複写）」（ゆうちょ銀行）のいずれかを「振込通知書等提出票」に貼り付けてください。 なお、検定料の返還については、※3の場合に限ります。
調 査 書	出身学校所定の用紙を用い、出身学校長が作成・厳封してください。
受験票返送用封筒	本校所定の受験票返送用封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、410円分の切手を貼り付けてください。
あ て 名 票	志願者の郵便番号・住所・氏名を記入してください。
国籍及び在留資格を 確 認 で き る も の	外国籍の者は、市区町村長発行の「住民票の写し」（在留資格が明示されたもの）を提出してください。

※1 検定料を銀行から振り込む場合の注意点

本校所定の「振込通知書」、「振込金領収証書」及び「振込依頼書」に、志願者氏名・住所等を記入の上、最寄の銀行窓口で振り込んでください。現金自動預払機（ATM）による振込はできません。

振込期間は、令和7年6月24日（火）から7月3日（木）までとします。銀行窓口の営業時間に十分注意してください。

※2 検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことが出来ますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は募集要項に添付されている「振込依頼書」を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振込依頼書(お客様控え(複写))」を受領してください。

● ゆうちょ銀行専用の振込依頼書(サンプル)

● 振込依頼書(お客様控え(複写))(サンプル)

※3 検定料の返還について

次の場合は、納付された検定料の返還を請求することができます。

- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
- ・検定料を重複して納付した場合

上記の場合は、群馬工業高等専門学校 学生課教務係（TEL：027-254-9060）までご連絡ください。

5 出願方法

志願者は、出願書類等を作成し、本校所定の出願用封筒により、「簡易書留速達郵便」で下記あてに送付してください。

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地
群馬工業高等専門学校 学生課教務係

6 選抜方法

編入学者の選抜は、学力検査、調査書及び面接の結果を総合して判定します。

(1) 学力検査科目

学 科	試 験 科 目
機 械 工 学 科	工業（機械設計）＜配点100点＞ 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列）・数学C（ベクトル）〕 ＜配点100点＞
電子メディア工学科	数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学B（数列）・数学C（ベクトル）〕＜配点200点＞
電 子 情 報 工 学 科	工業（電気回路）＜配点50点＞ 工業（工業情報数理）＜配点50点＞ 工業（プログラミング技術）＜配点50点＞ 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列）〕＜配点50点＞
物 質 工 学 科	工業（工業化学）及び化学基礎・化学に共通する範囲＜配点200点＞ 上記の代わりに一部、生物基礎（最大40点分）を選択可能
環 境 都 市 工 学 科	工業〔土木構造設計（土木構造力学）〕＜配点100点＞ 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列）・数学C（ベクトル）〕 ＜配点100点＞

※なお、経過措置として、令和8年度編入学者選抜においては、上記の新教育課程による科目とこれに対応する旧教育課程との共通の内容を出題する又は選択問題を課すことの措置を講じます。

(2) 面 接

面接は各学科で行います。

(3) 学力検査及び面接の日時

月 日	時 間		
8月27日（水）	検査室にて受験上の注意	学力検査	面 接
	12：50～	13：00～15：00 （120分）	15：10～

(4) 検査場

本 校（専攻科棟3階 S-301教室、裏表紙参照）

(5) 受験者携行品

受験票・黒鉛筆（シャープペンシル）・プラスチック製の消しゴム（カバーを外したもの）・鉛筆削り

7 合格発表

令和7年9月1日（月）10時に本校玄関前掲示板（裏表紙参照）に合格者の受験番号を掲示した後、本校ホームページにも掲載します。また、選考結果について郵送にて合格者本人宛に通知します（令和7年9月1日（月）午後に発送予定）。

なお、電話等による可否の問合せには一切応じません。

8 入学確約書について

合格者には、合格通知書と共に入学確約書を送付します。合格者のうち入学の意思がある者は必要事項を記入の上、9月26日（金）15時までに、本校学生課教務係へ期限必着で提出してください。

期限までに提出がない者は、入学の意思がないものとして扱います。

9 災害により被災したことによる入学志願者の検定料免除措置について

本校に入学を志願する者で、令和6年8月28日（水）から令和7年8月26日（火）までの間において、次のいずれかに当てはまる場合、検定料を免除することがあります。該当する志願者は、本校学生課教務係へお申し出ください。

- 一 本人又は学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け、居住する家屋が半壊以上（床上浸水を含む。）の被害を受けた場合
- 二 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡（行方不明を含む。）した場合

10 障害等を理由に合理的配慮の提供を希望する者について

入学者選抜において、障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、直前の相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。なお、必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び、在籍学校等の関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。また入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提供を求める場合があります。

11 注意事項

- (1) 出願書類について
出願書類に虚偽の記載事項があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- (2) 学力検査当日の注意事項について
 - ①受験票、黒鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック製の消しゴム（カバーを外したもの）、鉛筆削りを持参してください。なお、鉛筆削りについては、検査時間外のみ使用可能とします。上履きは持参する必要はありません。
 - ②学力検査の公正さを損なうおそれのある文字等が印刷されているものを、検査時間中に使用したり身に着けたりすることはできません（ハンカチ・膝掛けを含む）。

12 個人情報の取扱について

志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている個人情報及び選抜に用いた検査成績・評価等入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導及び課外活動
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金の申請審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

※試験の実施に関して、不測の事態（災害・事故等）が生じた場合、選抜方法が変更となる可能性がございます。その場合は、志願者へご連絡するとともに、インターネット上の本校ホームページに掲載します。

入 学 案 内

1 本校の教育理念

本校では、「科学技術を通し、地球と人の調和をはかり、人類の繁栄に貢献できる人材を育成する」ことを教育理念としています。

2 教育目標

最も得意とする工学の知識と異なる分野の工学の知識を融合することにより、専門分野を広い視野で捉えることができ、将来、より高度な技術的課題に取り組むことができる基礎能力を有する技術者を養成する。

3 アドミッション・ポリシー

3-1 求める学生像

本校では、本校の教育理念及び学習・教育目標、さらには、学科の教育目的を踏まえ、総合的な基礎学力を十分に有する、次のような人の入学を求めている。

- (1) 科学技術者になりたいという志をもっている人
- (2) 人類の繁栄と地球環境を守るための科学技術に関心のある人
- (3) 国際的な場で活躍したいという希望をもっている人
- (4) 工業技術に興味があり、自ら進んで学習する意欲のある人
- (5) 数学や理科などの自然科学系科目が得意で興味のある人

3-2 入学者選抜の基本方針

(1) 推薦入学者選抜

出身中学校等から推薦された志願者のうち、入学の意志が強固で、学修に必要な基礎学力を有し、適性及び関心をもつ者を調査書及び面接により選抜する。

(2) 一般入学者選抜

入学を志望し、学修に必要な基礎学力を十分に有する者を調査書及び学力検査により選抜する。

(3) 編入学者選抜

入学を志望し、編入学後の学修に必要な基礎学力を有し、適性をもつ者を調査書、学力検査及び面接により選抜する。

4 本校の特色

本校は、国立高等専門学校第1期校として昭和37年4月に開校し、5年間の一貫教育により、これまでに約9,400名の卒業生を社会に送り出してきました。平成3年7月には学校教育法が改正され、高等専門学校を卒業した者は「準学士」と称することができるようになりました。

教育カリキュラムは、一般科目と専門科目を系統的にバランスよく学ぶため、学年が上がるにつれて専門科目の割合が増えていくように設計されています。技術者として社会で活躍するための基礎・教養となる一般科目にも力を入れ、専門科目においては、工学の理論とともに実験・実習などの実技科目を重視しています。1年次及び2年次は各学科の学生を均等に振り分けた学級（混合学級）を採用し、全学科共通の科目は混合学級で、専門科目は専門学科で授業を実施しています。また、人間形成という観点から、教員と学生の緊密な触れ合いを図り、学習面のみならず生活面にも行き届いた指導を行い、学生の教育に万全を期しています。さらに、正規の授業の他に課外活動を重視し、たくましい体力と強靱な精神力を育成することに力を入れています。

また、全ての学科で情報処理が学べるカリキュラムとなっています。近年の情報通信技術（ICT）の発展に伴い、従来から取り組んでいるプログラミング教育に加え、情報モラルやセキュリティ教育も取り入れており、豊かな情報リテラシーを有する人材の育成を行っています。さらに各学科の特色を活かした情報教育へと発展させることにより、それぞれの分野で必要とされる情報処理能力を修得することができます。校内には高速・大容量のネットワーク環境が整備されていることに加え、平成31年3月には演習室のPCを一斉更新し、ICT環境の充実が図られています。

さらに、国際交流の観点から、これまでに外国人留学生（定員外）132名を受け入れてきました。今後も毎年数名の留学生を受け入れる予定です。また、国際交流室を設け、学生が国際的に広い視野をもてるように、海外の大学との教育研究交流を推進しています。希望者を対象に、語学研修を春季・夏季休業期間中に実施し、海外で活動する機会を提供しています。

本校卒業後更に勉学を希望する学生のために、平成7年度から2年制の専攻科を設置しました。専攻科では、主に高専卒業生を対象として、今日の先端科学技術産業が必要とする人材を育成することを目指しています。4、5年次の単位と専攻科2年間での所定の単位を修得することで、大学と同様に「学士」の学位が取得可能となります。なお、本校の専攻科には、機械工学、電子メディア工学及び電子情報工学を基礎とする生産システム工学専攻と、物質工学及び環境都市工学を基礎とする環境工学専攻の2専攻があります。専攻科修了後には大学院へ進学することもできます。

この専攻科以外にも高専卒業生には、国公立大学3年次への編入学の道が開けています。本校では、近年、大学3年次編入者や専攻科への進学者が多い状況が続いています。

5 教育課程

授業科目の詳細は次表（7ページ参照）のとおりです。低学年では一般科目が多く、高学年に進むにつれて専門科目が増えていきます。第3学年以上で行う授業内容は、大学に準ずる科目が多く、最終学年では、卒業研究が課せられています。なお、次表（7ページ参照）はあくまで参考であり、授業科目の改定が行われる場合もあります。

6 学習目標

本校の目指す技術者像を達成するための学習目標は次のとおりです。

- A. 地球的規模での人、社会、環境について倫理・教養の基本を身に付ける。
 - 1. 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。
 - 2. 工学や技術の潜在的危険性を理解する。
- B. 技術的問題解決のための幅広い工学の基本的知識を身に付ける。
 - 1. 工学の基礎となる自然科学の科目を理解する。
 - 2. 基礎工学科目の学習を通して、工学の基本を身に付ける。
 - 3. コンピュータリテラシーの基礎を学習し、それを簡単な工学的問題に応用できる。
- C. 技術的問題解決のための専門分野の基本的知識を身に付ける。

各学科における専門科目を学習することにより、技術的課題を理解し対応できる。
- D. 技術的課題を分析し、解決するためのシステムをデザインする基礎能力を身に付ける。
 - 1. 自然科学、基礎工学、専門工学の知識を用いて、現実の技術的課題を理解し、それを解決するための工夫ができる。
 - 2. 技術的問題解決のために必要な情報を収集し、解析するための基本となる情報処理技術及び工学的ツールを活用できる。
 - 3. 実験・実習科目の修得を通じて、自主的、継続的に学習できる能力を身に付ける。
 - 4. 設定された目標に対し、互いに連携を図りながら目標達成に向けた行動ができる。
- E. コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を身に付ける。
 - 1. 自己の考えを論理的、客観的に口頭及び文章で表現できる。
 - 2. 異なった歴史や文化を持った人々の考えを理解できる。
 - 3. 英語の基礎的な文章を理解し、また英語で簡単な内容を伝えることができる。

※太字：1～3年生の受講科目

※材料化学コースのみ選択可能
※※生物工学コースのみ選択可能

7 学校生活のあらまし

本校では、健全な精神と健康な身体を養い、豊かな人間性の確立に資するため、正課の教育と合わせて課外のクラブ活動も重視しています。体育クラブの対外試合としては、毎年夏に関東信越地区高専体育大会、全国高専体育大会が行われています。

また、自己の心身を練磨するとともに学生相互、教職員と学生との間の信頼関係を深めることを目的として、全学生参加の球技大会・体育祭・学園祭・芸術鑑賞会などを行っています。

8 学費等

入学時に必要な学費等は次のとおりです。

入 学 料	84,600円
授 業 料	117,300円（年額234,600円のうち前期分）
学 生 会 費	5,000円（年額）
教 科 書 代	約30,000円（学科により多少異なる）
教 材 費	約40,000円（製図器具、作業着、体育着、その他）

※入学時、在学中に授業料等改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。

9 高等教育の修学支援新制度（入学料、授業料の減免及び奨学金制度）

この制度では、授業料等の減免（授業料と入学料の免除または減額）と給付型奨学金（原則返還が不要な奨学金）の2つの支援があります。

世帯の収入などの要件に合う学生が支援の対象となり、給付型奨学金の対象者は授業料等の減免対象者となります。

10 寮生活について

本校敷地内に、学生のための寄宿舎があり、約150名の寮生が共同生活をしています。寮務主事や当直の教員が指導助言に当たり、学生支援系の職員が施設の管理等を担当しています。日常生活は寮長以下の寮生会役員を中心に、自主的に行われています。寮生活は、協調性や自立心を養う上で、極めて有意義です。なお、入寮希望者は選考の上、入寮を許可しています。

所 在 地	〒370-0001 群馬県高崎市中尾町235番地（本校敷地内）		
名 称	鴻志寮（男子）・藤寮（女子）		
収 容 定 員	177名（男子132名、女子45名）		
経 費 ^{※1}	寄 宿 料	2人部屋	700円（1か月）
		個 室	800円（ 〃 ）
	食 費（3食）		約49,000円（ 〃 ）
	寮 運 営 費		7,500円（ 〃 ）

※1 在学中に寄宿料等改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。

11 卒業後の進路

(1) 過去3年の大学等進学状況

・大学・専攻科進学状況：本科卒業生

大学等名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
群馬高専専攻科	37	40	38
北見工業大学		1	
室蘭工業大学	2	2	2
東北大学	2	2	4
秋田大学			2
福島大学	1		
茨城大学	1		1
筑波大学	1	1	3
宇都宮大学	2	3	1
群馬大学	7	10	7
千葉大学	1	2	2
東京大学	1		
東京農工大学	1	3	2
東京工業大学		3	
横浜国立大学	1		
電気通信大学		1	
新潟大学	4	7	2
長岡技術科学大学	7	13	18
富山大学	1	1	
金沢大学	2	3	2
福井大学	4		
山梨大学	3	3	5
信州大学	3		3
静岡大学	1	1	
名古屋大学	1		
名古屋工業大学	1		1
豊橋技術科学大学	3	4	5
京都大学	1	1	
奈良女子大学	1	1	1
島根大学	1		
岡山大学	1		3
広島大学	1	1	
高知大学			1
九州大学	1	2	1
九州工業大学	1		
琉球大学	2		1
東京都立大学		3	1
早稲田大学			3
その他の大学等	6	11	14
計	102	119	123

・大学院進学状況：専攻科修了生

大学等名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
北海道大学大学院		1	
東北大学大学院	5	5	6
筑波大学大学院	4	3	4
宇都宮大学大学院	1		
群馬大学大学院			1
東京大学大学院	1	1	
東京工業大学大学院	8	3	
東京科学大学大学院			2
横浜国立大学大学院			1
長岡技術科学大学大学院	2	1	2
金沢大学大学院			1
京都大学大学院		1	
大阪大学大学院			1
九州大学大学院		1	
総合研究大学院大学		1	
奈良先端科学技術大学院大学	2	3	2
北陸先端科学技術大学院大学	1		1
その他の大学院等		4	
計	24	24	21

(2) 過去3年の主な就職先

(就職率はほぼ100% 令和6年度求人数 3,029件)

《本科》

(株) JALエンジニアリング
 (株) SUBARU
 (株) NIPPO
 (株) IHI
 (株) LIXIL
 シャープ (株)
 (独) 水資源機構
 (独) 国立印刷局
 NTT東日本グループ会社
 DMG森精機
 アイリスオーヤマ (株)
 KDDIエンジニアリング (株)
 旭化成 (株)
 サントリープロダクツ (株)
 ニプロ (株)
 三菱電機エンジニアリング (株)
 スバル興産 (株)
 東芝ITサービス (株)
 ルネサスエレクトロニクス (株)
 アマゾンジャパン合同会社
 協和キリン (株)
 キリンビール (株)
 大成建設 (株)
 信越化学工業 (株)
 (株) 資生堂
 リケンテクノス (株)
 群馬県
 長野県
 東日本旅客鉄道 (株)

《専攻科》

太陽誘電 (株)
 (株) 富士通ゼネラル
 (株) SUBARU
 (株) TBSアクト
 アイリスオーヤマ (株)
 中外製薬工業 (株)
 東京電力ホールディングス (株)
 日東電工 (株)
 凸版印刷 (株)
 信越化学工業 (株)
 関東電化工業 (株)
 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン (株)
 横浜市

編 入 学

令和8年度
群馬工業高等専門学校入学願書

		受 験 番 号	
		※	
志 願 者	志 学 望 科	工 学 科	
	ふりがな		男 ・ 女
	氏 名	昭和・平成 年 月 日生	
	現 住 所	〒 ー E-MAIL TEL ()	
	出身学校	所 在 地	〒 ー TEL ()
学 校 名 学 科 名		立 学校 科 平成・令和 年 月 日 卒業・卒業見込	
保 護 者	ふりがな		本人との 続 柄
	氏 名		
	現 住 所	〒 ー TEL ()	

注意 ※欄は、記入しないでください。

- ※欄を除き黒又は青のボールペンを使用して記入してください。
- 志願者氏名欄は、志願者本人が記入してください。
- 入学願書及び写真票の写真欄に写真（裏面に氏名を記入）を貼り付けてください。
写真（白黒・カラーは問いません。）は、縦40mm・横30mmの大きさに出願前3か月以内に撮影した上半身無帽のものとしてください。
また、検査当日に、眼鏡を使用する者は、眼鏡を着用した写真としてください。

写 真

40mm×30mm

写真の裏面に氏名を記入して、のり付けしてください。

令和 年 月撮影

編 入 学

令和8年度
群馬工業高等専門学校
写 真 票

受 験 番 号	※
氏 名	
志 学 望 科	工学科

写 真

写真欄に写真（裏面に氏名を記入）を貼り付けてください。
写真（白黒・カラーは問いません。）は、縦40mm・横30mmの大きさに出願前3か月以内に撮影した上半身無帽のものとしてください。
また、検査当日に、眼鏡を使用する者は、眼鏡を着用した写真としてください。

写 真

40mm×30mm

写真の裏面に氏名を記入して、のり付けしてください。

令和 年 月撮影

編 入 学

令和8年度
群馬工業高等専門学校
受 験 票

受 験 番 号	※
氏 名	
志 学 望 科	工学科

検 査 日 時

8 月 27 日（水）

12：50 検査室にて受験上の注意

13：00
）
15：00 学 力 検 査
（120分）

15：10
） 面 接

（切り離さないでください。）

（切り離さないでください。）

「振込通知書」等提出票

受験番号	※	氏名	
------	---	----	--

収納印のある「振込通知書（提出用）」

又は

「振込依頼書（お客様控え（複写））」の
いずれか1枚を、貼り付けてください。

「振込依頼書（お客様控え（複写））」は4つ折にして、貼り付けてください。

編入学

受験者心得

- 1 学力検査当日〔8月27日(水)〕は12時40分までに検査場入口で受験票を提示し、検査室に入室すること。
- 2 遅刻した場合、又は受験票を忘れた場合は係員に申し出ること。
- 3 20分以上遅刻した場合は、受験は認めない。
- 4 検査室の各自の受験番号の席につき、受験票を番号の横に置くこと。
- 5 机の上には、受験票、黒鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック製の消しゴム（カバーを外したもの）、その他使用を許可された用具以外は置かないこと。時計、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機の使用は禁止する。
- 6 学力検査の公正さを損なうおそれのある文字等が印刷されているものを、検査時間中に使用したり身に着けたりすることはできません（ハンカチ・膝掛けを含む）。
- 7 カバン等は検査室内の指示された場所に置くこと。
- 8 検査開始後は、検査終了まで退室を許可しない。
- 9 検査時間中に気分の悪くなったとき、又はトイレに行きたいときは、手を挙げて監督者に申し出ること。
- 10 不正行為はしないこと。
- 11 検査終了後、答案用紙と問題用紙はそろえておき、持ち帰ってはならない。また、監督者の指示があるまで退室してはならない。

検定料の振込について

令和8年度群馬工業高等専門学校編入学試験に係る検定料については、添付の本校指定の振込依頼書をご利用の上、左記の振込期間内に振り込んでください。

なお、郵便局（ゆうちょ銀行）を利用して振り込む場合は、この振込依頼書は使用できません。詳細につきましては、2ページの注意点を参照してください。

また、振込の際には別途手数料が必要となります。

1. 検定料の振込は銀行窓口をお願いします。
(下の切取線以下を切り離してお使いください)
2. 銀行の収納印をもって本校の領収証書に代えさせていただきます。
3. 振込の手続は出願に必要な書類等を郵送する前に必ず行ってください。
4. 振込金領収証書は、必要により確認することがありますので、大切に保管してください。
5. 銀行によっては窓口営業時間が異なりますので十分ご注意ください。
6. ※の欄をご記入の上、銀行窓口へ提出してください。

本件に対するお問い合わせ先は 総務課財務係まで TEL：027-254-9029

(切り離して使用してください。)

振込期間

令和7年6月24日(火)

～

令和7年7月3日(木)

振込通知書 (提出用)

依頼日	*	年	月	日
金額	¥16,500円			
振込先	群馬銀行 本店営業部			
受取人	高専機構本部			
志願者名	*			
志願者住所	*			
令和8年度 編入学選抜試験				

本票は、出願期間内に書類と共に、群馬工業高等専門学校へ提出してください。
本票に、取扱銀行収納印がない場合は無効です。

収	納 印
納	
印	

振込金領収証書 (本人控)

依頼日	*	年	月	日
金額	¥16,500円			
振込先	群馬銀行 本店営業部			
受取人	高専機構本部			
志願者名	*			
志願者住所	*			
必ず窓口で振込手続をしてください。 ATMでは行わないでください。				

(納付後本人が切り離してください。)

上記の金額正に 受け取りました。 (取扱店)	銀行
	支店

収	納 印	印 紙
納		
印		

取引銀行へ
お願い

・本指定用紙以外の使用はできません。
・自動振込機での振込はできません。

(銀行で切り離してください。)

電信扱

振込依頼書 (取扱店保存)

科目									
依頼日	*	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料	円	
受 取 人	振込先 銀行	群馬銀行 本店営業部 普通 2308018				金額	¥16,500円		
	受取人 口座名	コウセンキコウホンプ 高専機構本部				内 訳	現金		
		他手							
ご 依 頼 人	志願者 氏 名	*				収納印又は振替印			
	*住所 〒								
電話番号 () -									

速達

1. 410円分の切手をはり付けてください。
2. 住所、氏名及び郵便番号を明記してください。

--	--	--	--	--	--	--

編入学受験票在中

様

群馬工業高等専門学校
学生課教務係

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地
電話 027-254-9060

※

整理
番号

あて名票

--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--

様

様

※整理番号

※整理番号

あて名票〔このあて名票2枚に記入したら切り離さないで同封してください〕

このあて名票は本校から受験者あてに通知する場合に使用しますので番地まで楷書で正確に記入してください。

- 注意 (1) 団地などに住んでいる場合は、〇〇団地〇〇号棟〇〇番と明記しないと郵便物が着かないこともあるので必ず記入してください。
- (2) ※整理番号欄は、記入しないでください。

速達

3718530

切手

はり付け

群馬県前橋市鳥羽町580番地

群馬工業高等専門学校

学生課教務係
行

簡易書留

編入学

二ツ折厳禁

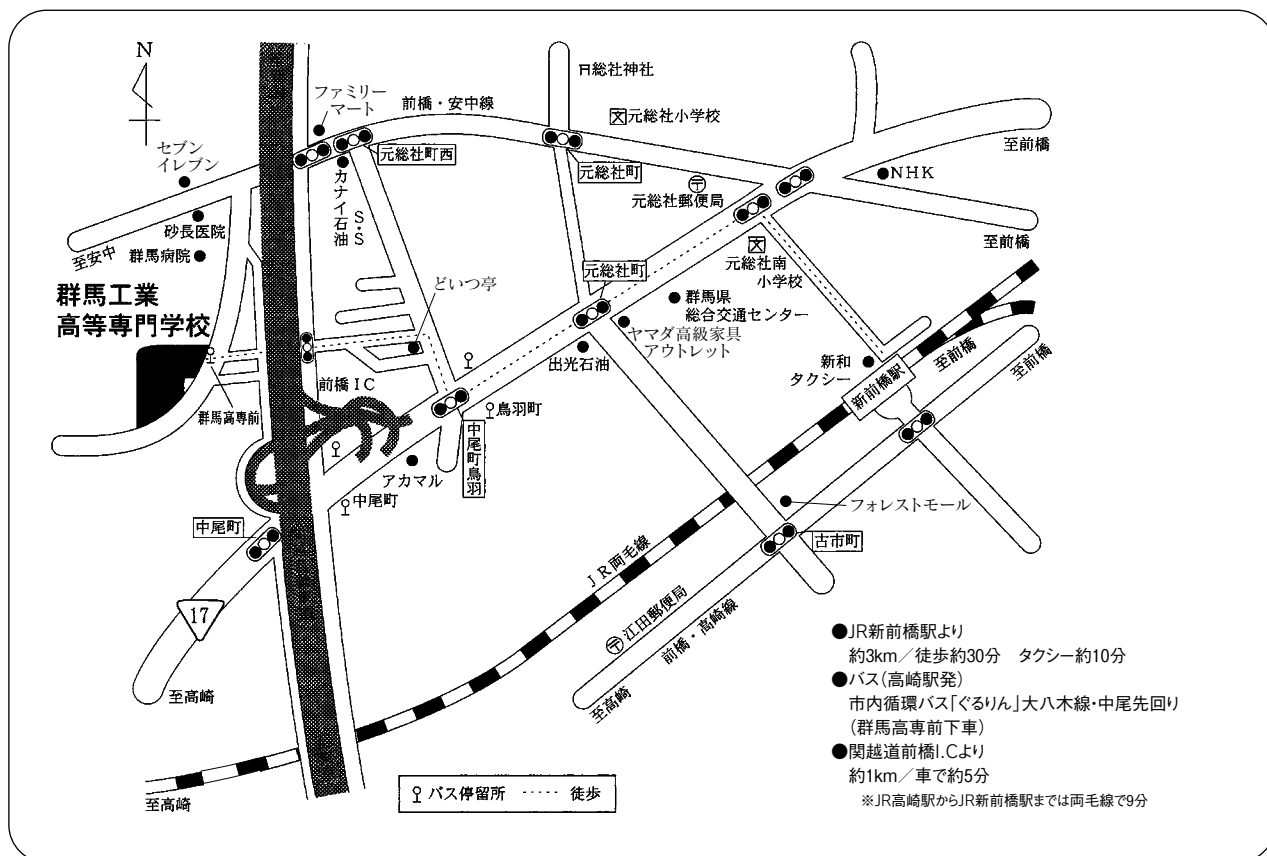
差出人	住所	〒
	志願者名 氏名	

※ 1 願書 1 封筒使用のこと

この封筒の中に書類が入っているか確認し、
チェックしてから提出してください。

確認欄	
編入学	提 出 書 類
☐	1. 入学願書
☐	2. 写真票・受験票・「振込通知書」等提出票
☐	3. 調査書
☐	4. 受験票返送用封筒
☐	5. あて名票
☐	6. 住民票の写し（外国籍の方のみ）

【学校案内図】



【校内案内図】

- 1 管 理 棟
- 2 第1・第2講義棟
- 3 環境都市工学科棟
- 4 衛生実験棟
- 5 情報基盤センター
教育研究支援センター
- 6 機械工学科棟
- 7 電子メディア工学科棟
- 8 機械工学科実習工場
- 9 物質工学科棟
- 10 群衆会館(学生食堂)
- 11 専攻科S-103教室
- 12 生活廃水処理施設
- 13 廃棄物処理施設・化学工業実験室
- 14 第2体育館
- 15 第1体育館
- 16 武道館
- 17 プール
- 18 図書館
- 19 体育共用センター
- 20 合宿研修施設
- 21 学 寮
- 22 学 寮 食堂・浴場
- 23 職員集会場所
- 24 駐 輪 場
- 25 電子情報工学科棟
- 26 学 生 課
- 27 課外活動施設
- 28 専 攻 科 棟
- 29 第3講義棟・
地域連携テクノセンター
- 30 環境都市工学科実習工場



〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地

独立行政法人 国立高等専門学校機構

群馬工業高等専門学校 学生課教務係

TEL 027-254-9060・FAX 027-254-9080・ホームページアドレス <https://www.gunma-ct.ac.jp/>